

新宮山彦ぐるーぷ第2087回

行仙宿で植平修氏他一名の奥駈修行接待

◇実施日…2020年7月15日(水)曇り

◇参加者…沖崎吉信、梶野照雄、2名

行者；植平修 66歳(奈良県宇陀市)

市居清善 65歳(滋賀県東近江市)

植平さんには、昨年4月椎木さんの奥駈修行に同行されたご縁で、浦向道の鋼鉄製新橋をご寄進いただき、その運搬や設置に5回もお運びいただいた。

所属されている金峯山寺の行事にも積極的に参加されておられ、また単独で大森山のザイル設置をされるなど修行と併せ維持管理にも尽力されている。先日6月7日の前鬼裏行場の倒木処理にも前泊してチェーンソー持参で参加ご協力を頂いた。

本山の奥駈行などの行事が新型コロナウイルスのために全て中止になる中、法友の市居さんと二人で梅雨空を厭わず、吉野く熊野く新宮(8泊9日)の逆峯奥駈行を行われた。

7月15日に行仙宿泊と連絡があり、せめて夕食の接待を、と思ひ梶野君と2名で出向いた。

当日昼過ぎ自宅を一人で出て下北山村役場に立ち寄り、南村長を表敬訪問。和田君からは「R425と四ノ川林道は走行確認が取れていないので気を付けてください」との連絡があった。役場を出発し

て、午後二時過ぎに登山口に着く。先着していた梶野君は一度小屋迄荷揚げし、再び登山口に戻って待っていた。



行仙宿に着



お二人が到着



お堂で勤行

モノレールに荷物を積み小屋に向かう。午後三時過ぎに行仙宿到着。ここまで長雨の影響は無く、R425、四ノ川林道、補給路、行仙小屋に異常は無かった。

午前11時半に植平さんから梶野君に電話で「証誠無漏岳に着いた」との連絡があった。行仙宿には午後4時半ころに到着予定だそうだ。

お二人を待つ間に小屋内の整理やストーブに火を入れ、用意した弁当の他におでんも持参したので鍋で温めたりと、食事の段取りを整えて到着を待った。

4時過ぎと5時前の2度、行仙岳方面に出迎えに行くがやってくる気配はない。待っている時は、なかなか到着しないものだ。小屋周りを整理していると鈴の音が聞こえてきた。来た、午後5時半、お

二人が到着、元気そうだ。

お堂で勤行し、7リッターのポリタンを手に、水汲みに下りられた。6時10分頃に小屋に戻り、沸かしたお湯で体を拭き、着替えて着席。大したおもてなしもできないが、用意した弁当を温めてお出しした。ビールもお勧めしたが、修行中なのでと固辞された。



水汲みから戻る

本日の参加者

午後8時に下山

食事中、お二人にお話しを伺ったら

「今日は午前3時過ぎに小仲坊を出たが、行仙迄14時間以上を要した。昨日、弥山から前鬼までは一日中雨で雨量も多く、前鬼手前の沢が渡渉できない可能性があったため、関伽坂尾根経由で小仲坊に入った。明日からは玉置山、本宮、小雲取越、大雲取越を歩き、最終日は那智山から新宮までを歩いて20日の夕方新宮着で満行となる。」

とのことだった。話は尽きないが、長時間の歩行でお疲れの様子、明日も早立ちなので午後7時半少し前に小屋を後にする。久しぶり

に真っ暗な中を下山した。帰宅は午後9時30分だった。

(記；沖崎)

行動タイム

14：15 登山口→15：05 行仙宿→19：25→19：55 登山口

行仙宿に向かう途中、ちょうど池峰の池の平公園の横で植平さんから電話があり、停車して話をする。証誠無漏岳からで、持経宿に降りて昼食後行仙に向かう、4時頃に到着予定。と言うことだった。ペースが速いと思いつながら登山口着。手早く食事を済ませて一旦小屋迄登る。先日見つけた発電機台の抜け落ちたボルトを付け直す。お堂前に幟を立てて準備する。



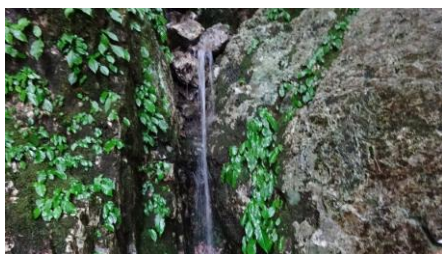
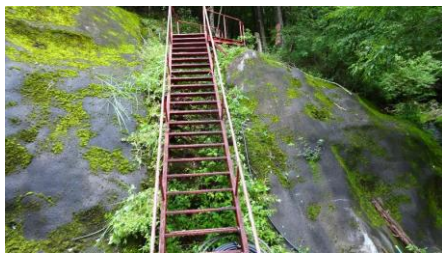
行仙宿に向かう

小屋内異常なし

発電機台の外れたボルト

水場も見に行きたかったが、時間の余裕がないと判断して、空の背

負子を背に登山口に戻った。沖崎さんの到着を待つ間に、登山口鉄階段の両脇に延びた小木を刈り取る。階段脇の水槽を掃除して側溝の落ち葉をほんの少しだけ掃除する。



階段脇を除草

水場の様子

2時過ぎに沖崎さんが到着、植平さんからの電話を報告、荷物をモノレールに積み込んで行仙宿に向かった。小屋玄関の温度計は18℃を指していて、半袖でじっとしていると少し寒さを感じる。ストーブに火を入れて一時間ほどで小屋内は21℃になった。お湯も沸かして大方の準備は完了した。午後4時を過ぎてもお二人が到着する気配はない。5時を過ぎて何かトラブルがあったのではと心配するが、5時半頃に沖崎さんが「鈴の音が聞こえる」と知らせた。到着した植平さんから「途中でお腹の具合が悪くなって」と聞かされた。

水汲みに降りる、と聞いて一緒に水場に向かった。水場はよく流れていて、落石も少なかった。夕暮れが迫っていたので、掃除はしな

かった。水場への途中、濡れた岩が滑りやすく注意が必要だった。夕食後、賞味期限切れの食品など、不用品を背に下山、午後8時に登山口を後にした。

(記：梶野)

行動タイム

11:56 登山口 12:12→12:47 行仙宿→13:20 登山口 14:20→15:05 行仙宿→17:46 水場→18:10 行仙宿 19:25→19:55 登山口